

重点課題	方策	自己評価		改善策	学校関係者評価	
		評価	達成状況		評価	ご意見
I	わかりやすい授業	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学級づくりや人権学習によって深まった信頼関係を生かし、ペア学習やグループ学習をより一層活発に行った。また、ICTを授業に積極的に導入した結果、分かりやすい授業に繋がることができた。 ・【授業はわかりやすいか】と【東中が好きか】の間には、中程度の相関が見られる。「授業がわかりやすい」と感じている生徒ほど、学校への満足度も高かった。 ・【授業はわかりやすいか】の問いには、生徒は86%、教員は100%が肯定的な評価であったが、保護者は72%に留まった。 ・要因は、必ずしも「わかりやすさ」と「成績」が直結せず、保護者にとって授業の方法等に対して懸念している部分もあるのではないかと推察される。 ・【目標とする点数に近づく努力】の問いに対し、20%の生徒が否定的な意見で、向上心や自尊心の低さが考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けて、モニスタ（基礎基本の反復学習）、読書活動等、朝学習の内容の充実を進める。 ・小単元や単元ごとに復習・まとめの時間を確保し、学習内容の定着を図る。 ・生徒の理解度に合わせてヒントを提示したり、ペア学習やグループ学習など生徒同士で学び合い、共に成長できる学習形態をさらに充実させる。 ・東中ライフやタブレットを活用して生活時間の振り返りを行い、学習時間の確保や生活習慣の改善に役立てる。 ・生徒自身ができるようになったこと（授業の様子やワークシートの振り返り、成果物）を保護者に伝える機会を増やす。 ・スモールステップで「できること」を増やし、できる喜びやわかる楽しさを実感できるような授業を展開し、学習に対して自己効力感が高まるような授業を展開する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの授業でICTを活用して授業をしている。子どもたちからは前向きな意見が多い。 ・毎日持ち帰ってミッドに取り組み、苦手な部分を自主学習として取り組んでいる。 ・教師の指導の工夫やICT機器の導入により、きめ細やかな授業が行われていると思う。 ・朝学習は授業へ入るための助走になっている。また、ペア学習は教え合うことで理解度の向上に繋がっていると思う。 ・タブレットを持ち帰ることで学習のハードルが下がったということから、時代の変化に即したICT活用の良い面を再認識した。 ・AIの活用について、使い方や脆弱性等についても指導をしてきていてありがたい。 ・各教科や特別活動などで作成した成果物を子どもたちが持ち帰り、学校での諸活動について家庭で共有する機会があれば、保護者が子どもの様子を具体的に知ることができると思う。
	ICT機器の使用		<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用について、生徒の肯定的な評価は75%で、昨年度より増加した。ネット環境の改善によりデジタル教科書やタブレットをスムーズに使えるようになったこと、また、新しいタブレットが導入されたことより、ICTを授業で使うことが日常となりつつある。しかし、教員や教科間での使用頻度に差があることから、まだまだ生徒にとっては、タブレット端末の使用場面が少ないと感じていると推察できる。 ・今年度、タブレットの充電は学校で行っていたので家庭への持ち帰りの回数が少なかった。その為、家庭での使用頻度が少なく、保護者の否定的な意見が多くなったと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ICT機器の効果的な利活用について、情報共有並びに「GIGAスクール推進委員会」により校内研修を計画し、GIGAスクール構想を進める。 ・ミライシード（個別学習・AIドリル）やスタディーポケット（生成AIによる個別学習支援）を活用し、生徒が主体的に個別最適化された学習ができるように支援する。 ・タブレット端末の使用が効果があると思われる場面を積極的に設定し、活用を進める。家庭での活用についても進めていく。 ・教科の授業以外でも活用できる場面を研究し、協働学習を推進する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の使用が効果があると思われる場面を積極的に設定し、活用を進める。家庭での活用についても進めていく。 ・教科の授業以外でも活用できる場面を研究し、協働学習を推進する。
II	魅力ある人づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・【希望する未来の実現に向け、支援しているか】【頑張りを褒めてくれるか・認めているか】の問いに、生徒、保護者ともに肯定的な評価が95%を超えている。特に【頑張りを褒めてくれるか】の問いで、「そう思う」とした生徒の割合は、昨年度の49%から70%に飛躍的に伸びている。日々の学校生活や行事において、PBSを念頭に生徒同士が互いを認め合う機会を設けたり、教師が生徒に前向きな声かけをしたりした結果と考えられる。 ・【困ったときに相談できる先生はいるか・雰囲気があるか】の問いに生徒は84%、保護者は96%が肯定的であった。日々の丁寧な対応が高い評価につながり、生徒や保護者と学校が良好な信頼関係にあると考えている。 ・【相談できる先生がいる】と【学校が好き】には中程度の相関があり、「心理的安全」の存在が学校への愛着に繋がっていると考えられる。 ・【いじめや差別のない学校づくり】については生徒、保護者ともに肯定的な評価が90%を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学校全体でPBSに取り組み、生徒の行動や努力を称賞して自尊感情を育成する。 ・嶋島東中学校の最後の年、生徒会を中心として様々な取組（プロジェクト）の企画運営を行い、嶋島東中学校の生徒としての誇りをもち、仲間との絆が深められるような教育実践を進める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとうの樹」等の取組をきっかけに、認め合う風土が醸成されていると感じる。子ども同士や子どもと先生など、温かいエピソードがたくさんある。数字では量れない人間力の成長がみられる素晴らしい取組だと思う。 ・⑦⑧⑨⑩の設問において、生徒と保護者の回答に大きな乖離がなく、安心できる。 ・生徒と保護者、両者とも「先生が自分（自分の子ども）を認めてくれていると実感している割合が極めて高く、先生方が心を砕かれていることがよくわかる。生徒と先生の関係も良好であると感じる。好ましい人間関係を将来にわたって築ける人間であってほしいと切に願う。
	好ましい人間関係づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・【定期的なアンケートを実施するほか、常にポジティブかつ傾聴的な態度で接することができるように研修を深める。 ・生徒同士が感謝の気持ちを「ありがとう」の言葉で素直に伝え、温かい言葉が飛び交う雰囲気醸成されるような仲間づくりに努める。 ・生徒の中に【困ったときや悩んだときに相談できる先生がいるか】との問いに対して否定的な意見もある。引き続き、生徒と関わる場面を増やして生徒の心に寄り添いながら、生徒と教師の信頼関係を築いていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なアンケートを実施するほか、常にポジティブかつ傾聴的な態度で接することができるように研修を深める。 ・生徒同士が感謝の気持ちを「ありがとう」の言葉で素直に伝え、温かい言葉が飛び交う雰囲気醸成されるような仲間づくりに努める。 ・生徒の中に【困ったときや悩んだときに相談できる先生がいるか】との問いに対して否定的な意見もある。引き続き、生徒と関わる場面を増やして生徒の心に寄り添いながら、生徒と教師の信頼関係を築いていかなければならない。 		
III	安全安心な学校	B	<ul style="list-style-type: none"> ・【相談したとき、考えや気持ちを聞いてくれたか】の問いに、教師に相談したことのある生徒全員が肯定的評価をしている。保護者からも92%の肯定的評価を得ている。 ・【施設の管理】【防災の知識】【健康管理】について、生徒の90%以上が肯定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの積極的な活用を進め、関係諸機関とも連携を取り、安心・安全な学校づくりに取り組む。 ・安全点検を強化し、危険箇所の早期発見、早期対応を行う。 ・昨年と同様に防災参観日を実施し、有事の際に自ら考え行動できる人材を育成する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・高い評価が得られており、先生方の意識の高さが反映されていると思う。 ・事件・事故・災害等から身を守る方法について、生徒は高い肯定感をもっているが、保護者はそう感じていない。もう少し発信力を強めてアピールしてもよいのではないかと。 ・愛校作業や資源回収など、地域の方々が協力してくださっている。防災学習など、新たな取り組みへの挑戦もすばらしい。 ・学校行事への保護者の参加率が増えている。
	地域とともにある学校		<ul style="list-style-type: none"> ・【情報を公開しているか】の問いに保護者の95%が、肯定的な評価であった。しかし、【教育目標を心がけているか・知っているか】の問いに対する肯定的な意見は、生徒90%、保護者61%となっており、保護者との目標の共有に課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の取組を発信する際、内容や方法・時期等を改善し、より多くの保護者や地域の方が理解したり、参加したりできるように工夫する。 ・PTAに関連する行事を積極的に活用し、目標の共有を図る。 ・マチコミメールや地域の閲覧板などで保護者や地域の方へ情報を発信する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・愛校作業や資源回収など、地域の方々が協力してくださっている。防災学習など、新たな取り組みへの挑戦もすばらしい。 ・学校行事への保護者の参加率が増えている。
IV	働き方改革の推進	C	<ul style="list-style-type: none"> ・マチコミによる案内文等の通知、Formsによるアンケートの積極的な活用を進めた。 ・教職員の時間外在校等時間の縮減については、目標が達成できたのは8月のみであり、課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種ソフトウェア（スタディーポケットやGoogleWorkspaceなど）の活用を積極的に進め、仕事の効率化を推進する。 ・部活動も含めたすべての教育活動について点検を進め、優先順位の低い業務の見直し・削減を行い、時間外在校等時間の一層の削減を進める。 ・年休等の計画的な取得をさらに推進して、職員の心身の健康を保ち、より良い教育環境の維持・向上に繋げる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方には、本当によくしてもらっている。「時間」のこともあるが、「やりがい」を大切に、健康を保ちつつ、改革を進めてほしい。 ・この項目の改善には時間がかかると思う。先生方には、心身の健康に留意してご勤務いただきたい。

I.魅力ある授業づくり II.魅力ある人と関係づくり III.保護者・地域とともにある学校づくり IV.働き方改革の推進

評価：A.満足できる B.ほぼ満足できる C.あまり満足できない D.満足できない